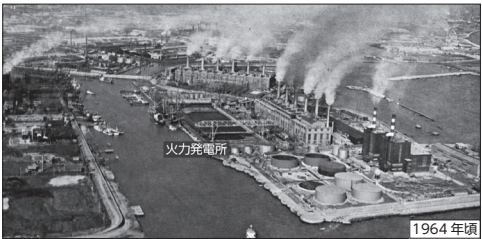


1. 移り変わる阪神工業地帯

1964 年頃の様子	2019 年の様子
 1964 年頃	 2019 年
① 主な工業	③ 特色
② 課題	④ 環境に配慮した取り組み

- (1) 1964 年頃、大阪湾の臨海部ではどのような工業が発達していたか、①に記入しよう。
- (2) 1960 年代の大阪では、工業に関連してどのような課題が起こっていたか、②に記入しよう。
- (3) 現在の臨海部の特色を、③に記入しよう。
- (4) 新しい工場や施設では、環境に対してどのような取り組みが行われているか、④に記入しよう。

2. 地域に根ざした中小企業

- (1) 資料Ⅰを見て、これらの工業製品の特色を挙げてみよう。

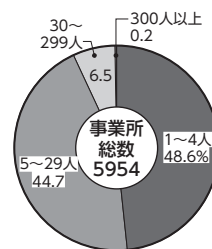
- (2) 資料Ⅱから、東大阪市の中小企業の割合を読み取り、東大阪市の中小企業への支援の取り組みや中小企業に関する地域が抱えている課題を挙げてみよう。

中小企業の割合	%
支援の取り組み	
地域の課題	

資料Ⅰ 大阪府で生産が盛んな工業製品

じゅうたん 30億円	大阪 75.6%	その他 24.4
自転車部品 1879億円	78.3%	21.7
絵の具 57億円	67.9%	32.1
ノート類 139億円	27.5%	72.5

資料Ⅱ 東大阪市における製造業の従業員数別割合



本時のまとめ

- ◆ 阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みを行ってきたのか、説明しよう。